

男子73kg級

準決勝戦第1試合

5 鳥居 智男
(了徳寺学園)

G・S判定勝

3 赤迫 佑介
(自衛隊体育学校)

ここまで鳥居は不戦勝を含むオール一本勝の快進撃、階級を上げての二連覇、本大会通算実に8度目の優勝を狙う。鳥居左組み、赤迫右組みのケンカ組手の両者の対戦は互いに見るべき攻防がなく、ゴールデン・スコアによる延長戦も引分。旗判定も2対1。際どい勝負を制した鳥居が決勝戦に進出。

準決勝戦第2試合

3 齋藤 涼
(旭化成)

裸絞

3 榎本 収
(新田クラブ)

新人齋藤は、ここまでオール一本勝で勝ち進んだ榎本と対戦。試合は齋藤が開始早々、畳に伏した榎本を巧みに裸絞で降し楽々と決勝戦に進出。

決勝戦

5 鳥居 智男
(了徳寺学園)

G・S判定勝

● 3 齋藤 涼
(旭化成)

超ベテラン対新人、年齢差実に15歳離れた決勝対決。鳥居は背負投、巴投、齋藤が体落、内股、小外刈、大外刈と互いに技を繰り出す。決定打無く引分けて延長戦に持ち込む。延長戦に入るとスタミナに優れる齋藤の攻撃に鳥居は防御に回る。場外際で齋藤が掛けた技を巡る微妙な判定もあったが、それらにも拘らず、両者共に決定的なポイントを奪えず時間となって、旗判定での決着となる。この階級での五連覇、通算V8を目指した鳥居であったが、延長戦での劣勢は否めず、旗は白色3本上がり、遂に鳥居の連覇記録が途切れ、新人齋藤に凱歌が上がる。